

専門科目 産業環境保健学

(専門職学位課程)

科目名	産業看護マネジメント論	code number : OEH 241	選択	1 単位
-----	-------------	--------------------------	----	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏期	曜日・時限	2日間	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

まず、前半では、産業保健師・看護師の基本的な考え方や役割、職域を対象にしたアセスメントの方法、対策の立案とマネジメントについて主に講義形式にて授業を行う。これらをもとにして、後半では、仮想的な事例を対象にして、グループワーク形式にて、アセスメントを行い、具体的な対策づくりを行う。担当教員を交えたグループ内でのディスカッションおよび全体発表・質疑を行う。

2. 授業の到達目標

【一般目標 (GIO)】

1. 企業における産業保健業務を遂行するにあたって多様な能力が要請されることから、産業保健師・看護師として職場の産業保健課題を抽出し、対策案を考え、他職種と合意形成を図り、対策実施をリードし、対策実現ができる能力を獲得する。すなわち、職場の個人の課題を超え、職場や工場あるいは事業場全体の健全性をアセスメントし、対策を検討し、その対策案を実施するための科学的分析能力やコミュニケーション能力およびリーダーシップ・マネジメント能力を獲得する。

【行動目標 (SBO)】

1. 産業保健師・看護師の基本的な考え方、役割等を説明できる。
2. 職場の産業保健の課題を把握 (アセスメント) できる。
3. 把握した課題から優先的な課題を抽出し、その対策を立案できる。
4. 対策を効果的に行うために他職種との合意形成をし、対策をマネジメントして実践できる。

3. 成績評価の方法および基準

(1) 演習の課題・レポート (50%)

(2) 参加態度 (50%)

注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

特に指定しない。必要に応じて配布する。

5. 参考書

河野啓子監修、新版 すぐに役立つ産業看護アセスメントツール、法研、2014

河野啓子著、2019年度版産業看護学、日本看護協会出版会、2019.

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・各回の授業内容で分からない専門用語があれば、次回までにその意味等を復習して理解しておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

産業看護マネジメント論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/3(土)	1	河野 啓子 教授(客)	産業保健における看護職の役割
2	8/3(土)	2	河野 啓子 教授(客)	産業看護マネジメントとシステムづくり
3	8/3(土)	3	猪股 久美 講師(非)	職域のアセスメントの方法
4	8/3(土)	4	磨田百合子 講師(非)	ケースを用いたアセスメントの実際
5	8/10(土)	1	福田 吉治 教授 河野 啓子 教授(客) 猪股 久美 講師(非) 磨田百合子 講師(非)	職場のアセスメント演習（情報の取り方・情報の分析）
6	8/10(土)	2		職場のアセスメント演習（課題と強みの抽出）
7	8/10(土)	3		職場のアセスメント演習（課題に対する対策の立案）
8	8/10(土)	4		職場のアセスメント演習（グループ発表）